

第五回多摩地区市町対抗囲碁団体戦の準備状況

2023年5月23日

関係各位

本大会実行委員長を仰せつかっている成田です。今年の第五回大会は八碁連の支援を得て8月20日に八王子市芸術文化会館のいちょうホールにて開催いたします。大会事務局はこれまでの大会と少し異なる大会要領で準備しています。その進捗状況を簡単に報告いたします。

1 大会会場と日程

第五回大会の会場運営を担う八碁連は、理事会を中心として芸術文化会館を管轄する市学園都市文化課と八王子文化連盟との連携により、特別承認枠によって会場と8月20日を大会日とすることで予約できました。このような会場選びは、今後の大会を担うであろう他の市町などに示唆を与えると思います。

第一回実行委員会は5月11日にクリエイイトホールで開きました。事務局や八碁連からの委員より大会の準備状況の説明がなされました。大会参加チームは代表と選手で10名とし、参加費を25,000円とすることなどが了承されました。八碁連は、参加者全員に桑都にふさわしい絹のハンカチーフを推薦していると報告されています。

2 大会経費

これまでの大会は『東京市町村自治調査会多摩交流センター』からの補助金、約50余万円によって支えられてきてい

ます。しかし、第五回大会では、会場の備品保有状況によって机や椅子を外部からレンタルする必要が生じ、補助金や各市町の参加費だけでは開催が困難であ



ることが判明しました。そこで八碁連はすでにレンタル料について業者から見積もりをとっています。大会事務局は、レンタル料を補填すべく寄附を呼びかけています。現時点で団体や企業、そして個人から 34 万円の浄財が寄せられています。

3 各市町の動き

現在、本大会に参加しようとしている市町は、選手選考の予選会などを実施しています。八碁連は実行委員である澤田理事を中心に選考の準備をしていると伺っています。今後は 7 月 27 日の第二回実行委員会において、参加を表明した市町による一回戦の抽選などを行います。

4 今後の大会開催の展望

多摩地区の市町の囲碁人口は減少しています。今年度の八碁連も例外ではありません。ここ数年の会員名簿をみるとそれが現れています。各市町の実行委員に大会の開催を打診していますが、大会の運営にあたるのが困難であると表明されています。今後大会をどこで開催するかは予断が許されない状況です。

これからの大会は、各市町が組織の身の丈にあった現実的な企画を考える時期がきているように思われます。幸いなことに、明るい兆しも報告されています。各市町は行政区画にとらわれず、囲碁愛好家ならだれでも参加できる催し物を企画しています。近隣の市町同士が親睦を兼ねた対局を企画したりしています。こうした集いは、本大会を継続してきたことで生まれた果実といえそうです。近い将来、インターネット上での大会も夢ではなさそうです。

以上、簡単な経過報告でした。

成田 滋